

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	17-3	
PDCA	主要事業名	長寿訪問等事業	部課名	福祉部高齢介護課	担当 内線	茶谷 371		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 2 単位施策： 高齢者福祉 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 1,293 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.01.02.11.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 多年にわたり社会に貢献した高齢者に祝金等を支給することにより、感謝の意を表すとともにその長寿を祝う。 また、結婚生活50、60、70年を過ごされた夫婦に対して、祝品を贈呈する。						
		事業目的： 高齢者に対して感謝の意と長寿を祝福する。						
		事業内容： 満100歳及び最高齢者（男女各1名）に祝金1万円を贈呈する。						
		問題点・ 昨今の長寿化により、対象者数は増加傾向にあるため、それに伴い事業費課題等： も増加している。						
	予算額	主要事業とする理由						
	1,293 千円	(3か年実施計画事業)						
	財源内訳	政策的事業であり、高齢者へ長寿祝金等を贈呈し感謝の意を表す。						
	市費	得られる成果						
	1,293 千円	長年にわたり社会に貢献してきた高齢者に祝金等を贈り、感謝とお祝いの意を表す。						
	国費	目標値や目指すべき状態						
	0 千円	高齢者の長寿を祝福できる状態						
	県費							
	0 千円							
	その他							
0 千円								
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果						
	703 千円	該当の高齢者に感謝の意を表し長寿を祝福することで、市民の敬老意識が高まり、該当者もこれまで以上に生きがいを感じ、更なる長寿の励みとなった。						
		成果指標						
		高齢者の長寿を祝福できる状態。						
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 長寿訪問については、敬老の日に合わせて市長等が高齢者宅を訪問し、長寿を祝福する気持ちを直接伝えることができた。 プラチナ婚・ダイヤモンド婚・金婚を祝う会については、記念品の内容を見直すとともに、より多くのご夫婦に記念撮影をしていただけるよう、写真クーポン券の利用案内を工夫した。						
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 今後も敬老・長寿を祝う事業として継続していくが、社会情勢等も踏まえながら、必要に応じて事業の実施方法等の見直しを検討していく。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	－	⑦コスト削減余地	ある	
②市民ニーズ		－	⑤成果向上の余地	ない	※対象の変更			
	③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	－		

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用